

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①健康ふれあいマラソン大会結果/プラネタリウムチャリティコンサート
- ②学校運営協議会報告/3町合同コンサート/みんなで作るこどもの居場所
- ③文化祭「子ども縁日」案内/ミニバレーボールウィンターリーグ/読み聞かせ研修会
- ④教育委員会表彰/定例教育委員会/新教育委員紹介/新入学児童健康診断
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

第19回 健康ふれあいマラソン大会結果



スポーツの秋

秋空のもと、10月14日(体育の日)に第19回健康ふれあいマラソン大会が開催されました。約80人の参加者は、スポーツセンター周辺の3~5kmのコースを汗を流しながら一生懸命駆けぬけました。各部門の1位の記録は次のとおりです。

中学

男子(5km)	佐藤 遙斗	18分40秒4
女子(3km)	龍崎 七海	14分59秒4

一般

男子(5km)	佐藤 力	18分48秒8
女子(3km)	梶谷みゆき	15分06秒6

小学生

小学生は男女とも3km!

1年生 男子	山口 奏多	19分07秒6
2年生 男子	飯塚 應介	19分00秒7
女子	飯田 結衣	19分51秒1
3年生 男子	梶谷 卓矢	15分39秒0
女子	中島 榎音	14分27秒6
4年生 男子	土居 友祐	14分24秒5
女子	富永 彩	18分57秒8
5年生 男子	沼田 奏和	14分16秒0
女子	大捕 瑚々奈	14分21秒0
6年生 男子	真野 薫	13分52秒8
女子	飯塚 芽生	17分52秒1



★プラネタリウム★ チャリティコンサート

コンサートで募金 厚真町へ寄付

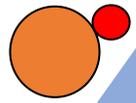
9月22日(日)、青少年センタープラネタリウム室で「プラネタリウムチャリティコンサート」が開催されました。シンガーソングライターの蛭名摩守俊(えびなますとし)さんとクリスタルポウル奏者の碧帆海(あおいほみ)さんの共演によるコンサートに、町内外から約40の方が来場し、満天の星空の中、アコースティックギターとクリスタルポウルの音に酔いしれました。プラネタリウムに星空が投影されると、歓声が響きわたり、歌に合わせて月や雪、厚真の夜景など、様々な変化するプラネタリウムがコンサートを引きだてました。来場者は、「星空を見ながらリラックスして音楽を楽しめた、クリスタルポウルの音色に心が癒されました」と述べていました。

当日は、入り口前で募金活動を行ない、蛭名さんと碧さんが普段の音楽活動で行った募金と併せて厚真町に寄付してくださいました。町外の来場者は「厚真町に来る途中、崩れた山を見て驚いた、今回のコンサートに来ることで被災した皆さんのお役にたてれば」と話していました。



厚南地区 第2回

学校運営協議会報告



9月25日(木)、令和元年度第2回厚南地区学校運営協議会が厚南中学校で開催されました。「昨年は地震で第2回目は開催できなかったものの、本協議会をきっかけに始まった、ほめる日、ありがとうの日、あいさつの日、などは今年度の具体的な取り組みにつながっている」と厚南中の富田校長があいさつし開会しました。協議された主な内容は下記の通りです。

協議1 あいさつの日

- ・慣れている人には大きな声であいさつできるが、知らない人にはなかなかできない子もいたようだ。
- ・あいさつは、地域の人との関係構築の第一歩。地域との関係構築なくして地域の福祉・防犯・防災はない。
- ・色々な人と接する経験が少ない子たちなので、定期的に行い関わりを作るきっかけにしてほしい。
- ・大事なことは学校だけでなく社会の中でも当たり前できるように成長してほしいというのが願い。
- ・ただあいさつをすればいい日ではなく、あいさつの意味や効果についても考えるきっかけを与えてくれる日である。

協議2 子どもたちにどんな体験をさせたいか

- ・厚真の「良さ」「すばらしさ」を体験させたい。小学校では今年、ハスカップ畑を作ったが、こども園でも作りたい。
- ・地元の子たちが農業体験をしないのはもったいない。
- ・「浜厚真のサーフィン」は町ならではの魅力の一つなので、そうした体験をするのもひとつ。
- ・意外と地元の人が厚真のことを知らない。その意味であえてローカルについて学ぶ「地場体験」は大切である。

聞かせて！委員の声！今春から新委員を務める梶谷みゆきさん

学校・地域・保護者・放課後児童クラブが一体となって、子どもたちのために何ができるか考えたい。また、あつまっ子として胸を張っていける人になれるよう手助けしたいです。



梶谷さんは児童クラブの支援員も務めています

厚真中吹奏楽部 厚真・安平・むかわ

3町で力を合わせて！ コンサート開催

9月28日(土)、総合福祉センターで、厚真中・早来中・鶴川中・鶴川高の4校の吹奏楽部合同の演奏会が行われました。この演奏会は、被災3町で力を合わせて、ふるさとに元気を届けたいという思いから実現し、むかわ町でのサマーコンサート以来、2回目の開催となりました。各校の単独演奏後、4校合同(約70人)で、「春」「ふるさと」など4曲を披露し、約120人の観客が聴き入りました。厚真中吹奏楽部は、現在21人の部員が所属しており、10月13日には定期演奏会を開催するなど、全道大会出場を目標として活発に活動しています。



手づくり遊び場プロジェクト みんなで作る子どもの居場所

厚真放課後児童クラブの共同保育室には、今年7月に支援員が手作りしたテーブルが2つあり、子どもたちは毎日、このテーブルを囲んでボードゲームやぬり絵をして過ごしています。現在、厚真放課後児童クラブでは、厚真放課後子どもセンターの裏に広がる森を子どもたちが思い切り遊べる森にしようという「冒険の杜プロジェクト」に取り組んでいます。下の写真は、現在製作中のウッドデッキです。まだまだ途中ですが、これからも子ども、支援員、保護者、地域内外の方々と一緒に進めていきたいと思っています。「一緒にやってみよう！」という方は、ぜひ下記までお問い合わせください。



教育委員会
社会教育グループ
☎27-2495

11月3日文化祭

「子ども縁日」を開催します

日にち 令和元年11月3日(文化の日)
 時間 9:00~13:00
 場所 総合福祉センター2階ホール
 内容 ①しゃてき ②ぬりえコーナー
 ③昔の遊び体験(けん玉検定含む)
 ④くじ引き

対象 幼児~小学生まで

※青少年センターで行われる図書フェスティバル「プラネタリウムでおはなし絵本」と上記①~③の4つのイベント全てに参加すると、豪華景品が当たる「くじ引き」にチャレンジできます。

けん玉検定開催! その場で級認定!

子ども縁日の昔の遊び体験コーナーでは、けん玉検定を受けることができます。技を決めれば、実際に級を取得することができます! ぜひ、お越しください!

日本けん玉協会公認検定員



堀田大策さんが来る!

第27回 ミニバレーボール ウィンターリーグ

日時 令和元年11月24日(日)
 午前9:00 開会式
 午後4:00頃 競技終了予定
 会場 厚真町スポーツセンター
 編成 メンバー構成は自治会、職場、学校等自由
 ※メンバーは8人まで登録可能ですが、他のチームとの二重登録はできません。
 Aリーグ: 男女混合
 Bリーグ: 女性のみまたは40歳以上の男女混合(常にコート内に女性1人はプレーすること)
 対象 中学生以上の町民及び町内に職場がある方
 申込 11月8日(金)までに下記あてに参加申込書を提出してください。
 スポーツセンター ☎27-3775

(ほりた だいさく) 苫小牧市在住
 けん玉のもつ可能性・能力を発揮し、普及・発展・継承を目的に多くの人に知ってもらおう! 楽しんでもらうを次の世代へ!
 【けん玉の力】
 コミュニケーション・集中力・忍耐力・気分転換・達成、充実感・魅力、効果、可能性を広める

文化祭「図書フェスティバル」

読書の秋

「読み聞かせボランティア事前研修会」を開催

9月19日(木)、読み聞かせボランティア事前研修会に8人が参加しました。はじめに胆振教育局教育支援課の永堀主査が「児童の望ましい生活習慣育成のために」と題して講話を行いました。北海道の子どもは、全国に比べて地域の体験活動の割合が低い傾向があり、読み聞かせの活動を行うことは子どもたちの読書活動の定着につながるという話がありました。

次に、千歳の「E 絵本クラブ」の落合さんと林田さんが英語の読み聞かせの活動について話をし、活動を継続する秘訣は、「決まりをつくらず無理しないこと」「読みたい本を読むこと」であると語りました。英語の読み聞かせでは、「YES または NO」と答えながら進む絵本が紹介され、子どもから大人まで楽しめる内容となっていました。

参加者からは「子どもに興味を持ってもらう読み方が難しい」との声がありましたが、「YouTubeなど海外の方が読んでいる読み聞かせを観ると参考になる」とアドバイスがありました。

その後、図書フェスティバル(11月3日開催)の内容について検討を行い、秋の星座「アンドロメダ座」のお話をプラネタリウムを活用して英語と日本語で読み聞かせを行い、お話を基にしたクイズラリーを行うことに決まりました。



図書フェスティバル案内 11月3日開催

場所: 青少年センター2階

内容: ①「プラネタリウムでおはなし絵本」

※10:00/10:30/11:00/11:30 の4回

②「クイズにこたえて缶バッジを作ろう」

令和元年度厚真町教育委員会表彰

下司義之さんに表彰状 11年間スポーツ少年団連絡協議会会長を務める



教育委員と写真に納まる下司さん（前列中央）

10月16日、青少年センターで教育委員会表彰式が行われ、下司義之さん（豊沢）に遠藤教育長から表彰状が手渡されました。

下司さんは、平成19年4月から平成30年5月までの11年間、厚真町スポーツ少年団連絡協議会会長として、青少年の健全育成に大きく貢献されました。教育委員からは、下司さんに対し、感謝とねぎらいの言葉が贈られていました。

池川さんが教育委員に就任

10月31日付けで教育委員の任期満了となった伴俊行さんの後任として、11月1日に池川徹さん（西町・58歳）が新教育委員に就任し、宮坂町長から任命書が交付されました。

池川さんは、商工会の役員や厚真町商店街活性化協議会委員など数々の公職を経験し、商工会のイベントや3本引き等に携わり、厚真町の知名度を全国に広げるなど、地域振興に貢献してきました。「厚真の子のために地域で何ができるかを皆で考え、元気で賢い子どもに成長してもらいたい。商工会活動で得た知識を役立てたいと思います」と抱負を語っていました。



いけがわとおる 池川徹さん

9月定例教育委員会

9月24日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
厚真町教育委員会委員の任命について/令和元年度一般会計補正予算及び財産の取得（学校給食センター厨房機器等）/厚真町英語暗唱大会について/英語教育推進委員会第5回連携部会について/あつま子ども未来フォーラムについて/青少年健全育成委員会委員夜間巡回指導について/札幌交響楽団厚真公演について/森のひろば2019について（11件）
- ◆議案
厚真町教育委員会事務局職員の人事について/厚真町立学校における働き方改革アクション・プランの改定について（2件）
- ◆同意事項
厚真町教育委員会表彰について
- ◆その他
令和元年度教育委員学校訪問について/令和2年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について（予定）
- ★問合せ
学校教育グループ ☎27-2494

新入学児童健康診断のお知らせ

令和2年度に小学校へ入学する町内の児童を対象に健康診断を実施いたしますので、必ず受診するようお願いいたします。対象となる児童にはすでに案内を送付していますが、まだ案内が届いていない場合や、当日受診できないお子さんがいる場合は、教育委員会へご連絡ください。

- ◆厚真中央小学校への入学予定者
実施日 11月11日【月】
12時50分～13時00分受付
会場 厚真中央小学校
- ◆上厚真小学校への入学予定者
実施日 11月7日【木】
13時00分～13時10分受付
会場 上厚真小学校

- ◆健診項目 身長、体重、内科、歯科、視力、聴力、知能検査
- ◆対象 平成25年4月2日から平成26年4月1日に生まれたお子さん
- ◆問合せ 教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

【お知らせ】

知能検査の時間中に、新入学児童の保護者を対象とした子育てに関するセミナーを開催します。
講師：菊地三奈氏（おもちゃコンサルタントマスター）
内容：小学校入学に向けた子育てのポイント、など

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

文化祭図書フェスティバルのお知らせ

11月3日の厚真町文化祭に、図書室も参加します。

今年はプラネタリウムでのお話し会をメインに、絵本展、古雑誌の配布を行います。3日の文化祭には青少年センターにもお立ち寄りください。

図書室：古雑誌リサイクル

主に2017年の雑誌を配布します。数に限りがありますので、ご希望の雑誌がない場合はご了承ください。

プラネタリウムでお話し会

(時間はプログラムまたは3ページでご確認ください)

星座にまつわるお話をします。お話し会が終わった後のクイズに参加すると、缶バッジ作りに参加できます。

図書室「まちづくりコーナー」のご案内

厚真町青少年センター図書室では、書架増設をきっかけに新しいコーナーを設けました。

図書室では、通常本の内容によって10の分類を利用して配架(本をそろえて並べること)をしています。この分類法は同じテーマの本が近くにあるので、調べたいこと読みたいことが揃っていればとても便利です。しかし、「飲食店を出店したい」ので参考になる本を調べようとすると、「法律」「食材」「店内装飾」「宣伝」「ノウハウ」など、内容が異なる本を書架のあちこちで探さなければなりません。今回整理した「まちづくりコーナー」は、一つの棚の中に見関係なさそうでもどこかで関係がある本を集約することで、この書架を眺めれば何かのヒントを得ることができそうな書棚をめざしました。具体的には、全国の特色あるまちづくりの事例や個人での起業に関する本、オフィスワークについてなどです。

他の図書館ではビジネス支援としてコーナーが設けられている所も多いのですが、ここ厚真町ではあえて「まちづくり」コーナーにしました。新たにビジネスを立ち上げることに、厚真町は多くの支援メニューを用意しています。他の市町村では難しくても、厚真町でなら起業するチャンスがより広がるのではないのでしょうか。そんな熱意が集まって、厚真町がいつそう前進してほしいとの期待を込めて、まちづくりコーナーにしました。

今は書店などでの評判が良い本を中心にそろえていますが、「〇〇についての勉強をしてみたいから参考書はあるだろうか」「こういう事例に関する本はないだろうか」など、ご相談いただければ探してみますので青少年センター図書室までお立ち寄りください。

■青少年センター 11月の休館日
23日(土) 勤労感謝の日

※3日(日)は祝日ですが、文化祭が開催されますので開館します。

■青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室
午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

11月のおはなしのびっこは 21日(木)10時から 青少年センター絵本コーナーです

☆放課後子ども教室☆

小学校では学習発表会も終わり、子どもたちも達成感を胸にホッとひと息つく頃。足元には赤や黄色の落ち葉やドングリが転がり、秋がいつそう深まる季節となりました。日没の時間も日に日に早まるので、活動が終わってからの帰り道は、より交通安全に気をつけていきたいと思います。

9月後半・10月前半の放課後子ども教室では、ホワイトボードマーカーペンを使ったミニ実験（描いた絵が水に浮く不思議）や、保冷剤とアロマオイルでの消臭剤づくり、野球の簡易版で低学年でも楽しめるティーボール、チームでクイズを解き、宝物のありかを突き止める謎解き宝探しを行いました。中でも謎解き宝探しは子どもたちの興味関心が高く、参加者数が過去最高を記録。とても驚きました。役割分担がうまくできず、遊びだす子がいたり、難しい問題を前に意見がぶつかることもありましたが、高学年がリーダーシップを発揮し、調整役を見事にこなす場面もありました。ヒントを頼りにクイズを解き明かし、宝物にたどり着いた子どもたちの表情はとても満足気でした。



10月の放課後子ども教室は、地域と子どもをつなげる特別教室『あつまっ子ふるさと体験教室』を2回にわたり実施しました。6日（日）は稲刈り体験。春に田植えをした田んぼを再び訪問し、黄金色に実った稲穂を稲刈り鎌で収穫しました。前日の雨でぬかるんだどろんこも戦いつつ、1時間ほどで約1アールの稲刈りが終わりました。天気にも恵まれ、気持ち良く農作業を体験することができました。13日（日）には、あつま新鮮組とのコラボ企画で、あつま新鮮組が苫小牧市で開催する特産市（物産展）に子どもたちも参加をさせてもらい、特産品販売のお手伝いを通じて厚真町のPR活動を行いました。最初は慣れない環境にモジモジしている子どもたちでしたが、一歩、勇気を持ってお客さんに「いらっしゃいませ！厚真町の特産市です」と声をかけ始めると、表情も明るくなり、動きも生き生きとしていきました。普段はあまり接点のない厚真町を支える産業との出会い、地域の大人との出会いが、子どもたちの心を育てる一助になるものと願っています。農繁期の忙しい時期に、こうした活動ができるのも、地域の方々の理解と協力があつてのことです。ご協力いただいたみなさまに改めてお礼を申し上げます。

